

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 186119

エポオール#40下塗

1. 一般名 変性エポキシ樹脂塗料下塗 A・B
2. 規格 鋼道路橋塗装用塗料標準 (2014)
JIS K 5551:2008 構造物用さび止めペイント C種
3. 特徴
- 素地調整が動力工具処理 (ISO St3) でもすぐれた付着力と防錆力を発揮し、ブラスト処理が不可能な場合に適している。
 - 無公害特殊防錆顔料の効果により、非常にすぐれた耐食性を発揮する。
 - エアレス塗装時の作業性にすぐれ、厚塗り塗装が可能である。

4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	20kgセット (主剤 17.0kg、硬化剤 3.0kg)				
色相	赤さび色、グレー、ライトグレー				
密度 (23°C)	塗料	1.34 (グレー)			
	揮発分	0.86			
加熱残分	68% (グレー)				
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C	30°C
	指触	4時間	2時間	1時間	40分
	半硬化	20時間	15時間	10時間	6時間
標準膜厚	60μm				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界 (下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目	内容			
素地調整*	動力工具処理 ISO St3			
調合法	主剤 85部、硬化剤 15部 (重量比)			
可使時間*	5°C	10°C	20°C	30°C
	5時間以内	8時間以内	5時間以内	3時間以内
温度・湿度制限*	気温: 5°C以下、湿度: 85RH%以上			
塗装方法	刷毛塗り、ローラー塗り、エアレス塗装			
使用シンナー	エポオールシンナーA			
塗装法	塗装方法*	刷毛、ローラー塗装	エアレス塗装	
	希釈率*	10%以下	20%以下	
	標準使用量*	200g/m ²	240g/m ²	
	目標膜厚*	60μm	60μm	
	ウェット管理膜厚	125μm	125μm	
エアレス塗装条件	1次圧 0.4MPa (4kg/cm ²) 以上、 2次圧 12MPa (120kg/cm ²) 以上 チップ No. 163-517~721			
塗装間隔* (20°C)	最小	1日		
	最大	10日		

注) *は「鋼道路橋防食便覧 塗装編」による。

6. 施工上の注意

- 被塗面の油、湿気、じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 余り塗装間隔が長くなると密着不良となる。規定範囲内で塗り重ねを終るようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウエスにて拭いて調整してから塗装すること。
- 希釈には必ずエポオールシンナーAを使用すること。
- 塗装終了後の使用機器は直ちにエポオールシンナーAで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

7. 関連法則

	主剤	硬化剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。